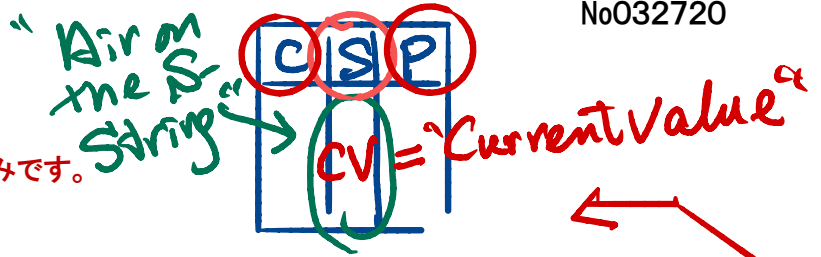


# SUMMARY

No032720

## <NOTICE>

3/30 及び 3/31 は、レポートはお休みです。  
4月号は 4/1 (no040120)からです。



\*\*\*\*\*

「乗り越えた先が楽しみでなりません!」……これはある方からのメッセージです。表現は違っても似通ったメッセージが多くの方から届きました。「本格的な」Number Operation」をしっかりと伝え指導したいという強い気持ちに駆られています。「本格的な」とは英語では「full-fledged」と言います。「completely developed」と言い換えることができます。「完全に発達した」、「完全に開発された」といった意味合いの言葉です。それは「90%の世界」と私が呼んでいる Number Operation のステージです。どうか希望を持って取り組んでください。

今週号レポートにおいて掲げた内容は、今回の RSC とは関係なく、元々年後半に紹介しようとしていたものです。VC のテーブルを毎回掲げてきたのもその布石だったのです。VC の数字を読むことに慣れなければならないからです。

“Full-fledged”

RSC を契機に予定を前倒して新しいステージに進むことにしました。

本格的な Number Operation は VC が中心です。VC の数字を読むにはマトリックスの数値/数値構造についての理解が不可欠です。これまで身につけたものを捨てるのではなく活かすこととなります。それまでもご経験が今回の RSC によって台無しになることはありません。また、ハードな局面において生じたアウトフローは取り戻せます。

“波の固定は必須”

「Number Operation において扱われる数字(数値/価値)はすべて回転している。」「時間が支配している。」ということをおぼえてください。それらの原理は VC において働いている Number Operation の生命線です。

全て数字(数値/価値)

VC の数字を中心に見ると、マトリックスの数値を中心に見るとでは、景色がまるで違います。それらは同じ Number Operation かと思えないほどです。VC 数字を中心に見ることで、日々の数値の変化に心うごかされるのがほとんどなくなり、より数学的に思考し、数学的合理性に基づいてハンドを組むことができるようになります。

回転している  
⇒ 波(水)が立っている

数字を読むことが“技術”の一部であるということがわかります。

VC のテーブルは AOS (“Air on the S-String”; “S 線上のエリア”)をまずご覧ください。そして、次に、その左側と右側の数値(価値)を見るのです。マトリックスの数値の見方とは全く違います。

それから今後は各テーブル(VC)の左側と右側の数字が相互にどのような関係を持っているのか、異なる期間(月)との関係をひとつずつおぼえていきます。身体でおぼえるのです。小難しいことを理屈でおぼえるより早く身につきます。



VC 間の関係性を見る  
○ C ↔ P の関係性を見る  
VC の意味の数字を見る  
“S線上のエリア”の CV を見る